

文化財の保存・活用

観世音寺宝蔵が本市初の国登録有形文化財に

11月24日(金)、観世音寺宝蔵を国の登録有形文化財に登録するよう文化庁文化審議会から文部科学大臣へ答申がありました。官報告示をもって正式に登録される予定です。登録となれば本市で初の事例です。

観世音寺宝蔵は昭和34年に建設された鉄筋コンクリート造りの文化財収蔵施設で、平安時代から鎌倉時代に制作された16体の重要文化財の仏像など、観世音寺の宝物が収められています。境内の雰囲気に合わせて外観、防湿・防熱の対策などの工夫が随所に見られ、造形の規範と評価されました。



観世音寺宝蔵



内部の様子は市ホームページ360°パノラマビューでも公開中

健康づくりの推進

チヨダ地域保健推進賞を受賞しました

本市の元気づくり課の保健師と管理栄養士が取り組む「手作り!わくわく健康ミュージアムDaza」の活動(P19で紹介)が、チヨダ地域保健推進賞を受賞しました。この賞は、地域保健の推進に顕著な成果をあげた活動に対して、一般財団法人千代田健康開発事業団が授与しています。

受賞した活動は、食品に含まれる塩分量を手作りのサンプルを見ながら知ることができる展示を中心に、楽しみながら健康づくりを考えてもらえるように企画しました。今後も、市民の皆さんの健康づくりをサポートできるように取り組んでいきます。



元気づくり課職員と保健センターに掲示している受賞作品の一部

まちのトピックス

友好都市交流

太宰府市・多賀城市の中学生が交流しました

太宰府市・多賀城市中学生交流事業「ふるさと・夢プロジェクト」で、本市の市立中学校の3年生から選ばれた代表者が「ふるさと大使」として、友好都市・多賀城市を10月4日(水)～6日(金)に訪問しました。参加者は、現地の中学生と交流し、史跡見学などを通して学んだことを各校の全校生徒の前で報告します。

また、10月26日(木)～28日(土)には、友好都市・多賀城市の中学生在本市を訪れ、両市の親睦を深めました。



両市の史跡を見学する生徒たち(左写真：多賀城跡、右写真：大宰府政庁跡)

安心安全のまちづくり

福岡県交通安全県民大会で表彰されました

第39回福岡県交通安全県民大会が11月10日(金)に行われ、交通安全功労者の優良団体として太宰府市立国分小学校児童見守りボランティアが、個人として交通安全指導員の松田忠美さんと小畑信彦さんが表彰されました。登下校時、子どもたちを交通事故や犯罪から守るための見守り活動が評価されました。

同大会では、福岡県交通安全推進市区町村として本市も優秀賞を受賞しました。昨年度の最優秀賞に続く受賞で、今後も安心安全のまちづくりを進めていきます。



太宰府市立国分小学校児童見守りボランティアの皆さん



左から松田さん、小畑さん